

製品情報



特殊硬質骨材

■ 製品名:FRフィラー ■ 荷姿:A液、B液 各3.2kg/缶  
■ 推奨カートリッジ 産業廃棄物対策容器 ソフトカードリッジ

使用方法

- ◆ A液B液を同量に混合します。  
※色がブラックになるのが混合の目安です。
- ◆ 可使時間は10分目安。
- ◆ 表面に特殊硬質骨材を散布し滑り止めとします。

試験成績表

| 試験項目           |                     | 試験条件            |        | 試験成績          | 規格(案) |
|----------------|---------------------|-----------------|--------|---------------|-------|
| 円すい針入度 (mm)    |                     | 試験温度25℃         |        | 0.7           | 9以下   |
| 軟化点 (℃)        |                     | 5℃／min          |        | 130以上         | 80以上  |
| 流動 (mm)        |                     | 試験温度60℃／5h      |        | 0.0           | 3以下   |
| フラス脆化点 (℃)     |                     | －1℃／min         |        | －35以下         | －12以下 |
| 割れ抵抗性 (℃)      |                     | －10℃／h          |        | －33           | 0以下   |
| 弾性(球針)<br>(標準) | 初期貫入量(mm)<br>復元率(%) | 試験温度25          |        | 0.3           | －     |
|                |                     |                 |        | 22.0          | 30以下  |
| 弾性(球針)<br>(老化) | 初期貫入量(mm)<br>復元率(%) | 養生温度            | 90℃    | 0             | －     |
|                |                     |                 | 168±2h | 24.0          | 30以下  |
| 引張量 (mm)       |                     | －10℃,0.1mm／6min |        | 0.3(コンクリート破壊) | 3以上   |

※規格(案):独立行政法人 土木研究所道路技術研究グループ 「10.6 効率的な舗装維持修繕手法に関する研究」による。

使用量の目安

■FRフィラー使用目安

|        |    | 幅(mm)        |              |              |               |
|--------|----|--------------|--------------|--------------|---------------|
|        |    | 2            | 5            | 10           | 20            |
| 深さ(mm) | 10 | 0.22kg(0.4本) | 0.55kg(1.0本) | 1.10kg(1.9本) | 2.20kg(3.7本)  |
|        | 20 | 0.44kg(0.8本) | 1.10kg(1.9本) | 2.20kg(3.7本) | 4.40kg(7.4本)  |
|        | 30 | 0.66kg(1.1本) | 1.65kg(2.8本) | 3.30kg(5.5本) | 6.60kg(11.0本) |
|        | 40 | 0.88kg(1.5本) | 2.20kg(3.7本) | 4.40kg(7.4本) | 8.80kg(14.7本) |

※ 使用量kg( )内は本数、比重は1.0で算定してあります。  
※ 本数はロス10%を見込み、割り増してあります。1本600mℓ (A液+B液)

■シールペイブ使用目安

| 製品名            | 種類         | 塗布量(m)               |
|----------------|------------|----------------------|
| プライマー          |            | 0.1~0.2kg            |
| FRフィラー(A・B液混合) | 高機能舗装      | 2.5kg/m <sup>2</sup> |
|                | 密粒度舗装      | 2.0kg/m <sup>2</sup> |
|                | コンクリート舗装   | 2.0kg/m <sup>2</sup> |
| 特殊硬質骨材(滑り止め骨材) |            | 1.5kg/m <sup>2</sup> |
| ゴムチップ          | 滑り止め用ゴムチップ | 0.3kg以上              |
| トップコート         | 2回塗り       | 0.3kg以上              |

豊かな未来を創造する  
フジタ道路株式会社

本 社  
〒104-6003 東京都中央区晴海一丁目8番10号  
晴海アイランド トリトンスクエア オフィスタワーX 3階  
【TEL】03-5859-0670(代表) 【FAX】03-5859-0679  
【E-mail】information@fujitaroad.co.jp  
【URL】http://www.fujitaroad.co.jp/

支 店  
■首都圏支店 【TEL】 03-5859-0531  
■東北支店 【TEL】 022-355-6221  
■名古屋支店 【TEL】 0561-64-3271  
■大阪支店 【TEL】 06-6363-0961  
■広島支店 【TEL】 082-568-5255  
■九州支店 【TEL】 092-281-0223



道路・駐車場管理者の皆さま

舗装のクラック・破損にお困りでは  
ありませんか?  
常温型補修材を紹介します。



驚異の特性! ポリウレアのカ/

亀甲クラック修繕工法

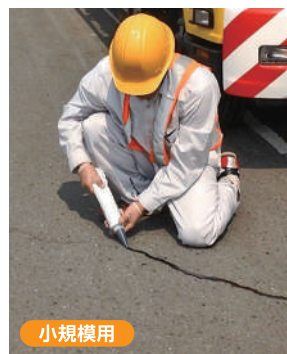
シールペイブ

## アスファルトクラック修繕

FRファイラー  
FRファイラー(ZERO) 注入工法

FRファイラーは、目地やひび割れ表面から確実な充填性を発揮し、作業性の向上が図れと誰でも簡単に注入施工が出来る常温型の補修材FRファイラーを用いた注入工法です。

## クラック規模による使用器具



小規模用



中規模用



大規模用



## ZEROの特長として

- ① 取り扱いが更に容易になっている。
- ② 特化則非該当品である。
- ③ クラックの伸縮に重点を置いているため、伸びを高く設定している。  
このため、ひび割れ追従性に優れ、振動に耐え、防水性が高い。

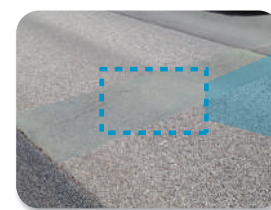
亀甲クラック修繕工法  
シールペイブ

防水性・耐久性・耐摩耗・耐熱に優れ、様々な変状要因から基材を保護します。高い追従性を発揮し、破壊が生じにくい粘り強い物性を有します。

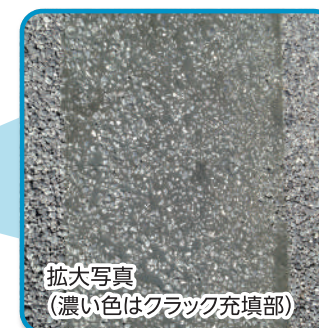
## シールペイブの用途

- アスファルトの亀甲クラックの補修
- 劣化した路面の機能回復と保護
- クラック充填
- 飛散の抑制
- 次回改修工事までの時期を延長

## 施工事例



補修遠景

拡大写真  
(濃い色はクラック充填部)

施工後1年経過

## シールペイブの施工手順



1 施工前

2 FRファイラーのゴムレーキによる均し  
滑り止め骨材ゴムチップ散布

3 完成

## FRファイラー注入工法の施工手順（舗装クラックの場合）



1 施工前

2 清掃工  
コンプレッサー及び  
ブロアーを用いて  
クラック内清掃3 注入工  
ソフトカートリッジ4 特殊硬質骨材  
散布

5 完成

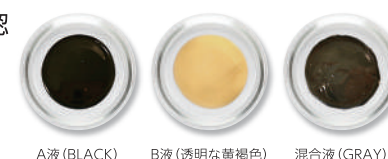
## FRファイラーの特長

## ① ゴミの減量・環境対応

容器はPE製のソフトカートリッジなので使用後は小さくなり、ゴミを少なくする環境対応容器です。

## ② 攪拌状況を視覚的に確認

主剤と硬化剤が異なる色で着色されており、混合が十分であるか否かを視覚的に判断できるようにしてある。



A液 (BLACK) B液 (透明な黄褐色) 混合液 (GRAY)

## ③ 無溶剤型注入剤なので肉やせがありません。

## ④ 特殊硬質骨材を散布すると補修後が目立ちません。

## ⑤ 常温で使用するため、取り扱いが容易で、かつ安全で迅速な施工ができます。

## ⑥ 粘度が低いので、微小クラックにも容易に注入でき、ひび割れの細部および深部まで充填されます。



特殊硬質骨材

## ⑦ 温度変化に強く、寒冷期の脆化によるひび割れや、盛夏時のフラッシュによるべたつきが発生しません。

## ⑧ 加熱溶解や、特殊注入機等を必要とせず、市販カートリッジガンにて作業可能です。

## シールペイブの特長

- ① 劣化の進んだ舗装の凹みを埋め、舗装を修復することができます。
- ② 常温硬化型で、取り扱い時の安全性が高い。
- ③ 強靱な物性を有するポリウレタ樹脂から構成される常温補修材です。劣化した舗装面等に生じた亀甲状クラック及び凹みの充填と路面を強化することで、舗装の延命化と機能回復を図ることができます。
- ④ 専用器具を必要とせず、コテ・ゴムレーキ等で簡便に施工できます。
- ⑤ 敷設後、専用ゴムチップを散布することで滑り止め機能を付与します。
- ⑥ 柔軟型耐候性トップコート塗布することで耐久性の向上が期待できます。

## 塗膜性能

| 項目    | 測定条件                             | 試験成績                  |                      |
|-------|----------------------------------|-----------------------|----------------------|
|       |                                  | シールペイブ                | FRファイラー(ZERO)        |
| 塗膜硬度  | JIS K 7215<br>タイプA<br>(デュロメータ硬さ) | 0℃                    | 70                   |
|       |                                  | 40℃                   | 67                   |
|       |                                  | 80℃                   | 64                   |
|       |                                  | 120℃                  | 60                   |
|       |                                  | 160℃                  | 50                   |
|       |                                  | 200℃                  | 39                   |
| 伸び率   | JIS A 6021                       | 338%                  | 620%                 |
| 引張強度  | JIS A 6021                       | 10.5N/mm <sup>2</sup> | 1.3N/mm <sup>2</sup> |
| 引裂強度  | JIS A 6021                       | 42.6N/mm              | 9.1N/mm              |
| 透水試験  | JIS A 6909 透水試験B法 24時間           | 0.0m <sup>3</sup>     | 0.0m <sup>3</sup>    |
| 付着性試験 | 建研式接着剥離試験(舗装内破壊)                 | 1.02N/mm <sup>2</sup> | —                    |

※FRファイラー(ZERO)の塗膜硬度は23℃の時の試験成績です。  
※塗膜性能試験結果は測定値のため、保証値ではありません。